


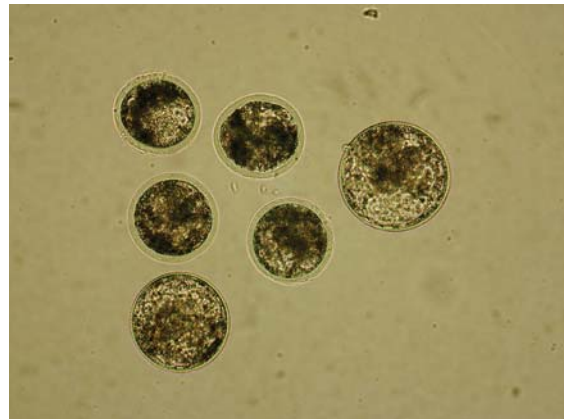
農学部研究シーズ 2014

所属・職・氏名	動物科学課程・教授・澤井 健	
紹介する研究シーズ名	ウシおよびブタ受精卵の機能性評価	
キーワード	受精卵、遺伝子発現、機能性	

シーズの「売り」は！！

胚移植に用いる家畜受精卵（初期胚）の機能性を様々な遺伝子の発現を解析することで評価することが可能です。

- ① シヤブタなど家畜における胚移植は高能力個体の増産などに有効です。
- ② 胚移植に用いる受精卵（初期胚）は、過剰排卵—AI による生体からの回収や体外受精(IVF) によって得られますが、特に IVF 胚の機能性は培養環境などによって影響をうけることが明らかになってきました。
- ③ 胚移植に用いる受精卵の機能性を IGF 関連遺伝子や組織分化制御遺伝子の発現動態によって評価することで、IVF 技術の改良を行うことができます。



ウシの IVF 胚（IVF 後 7 日目：胚盤胞期）

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

家畜における IVF 技術の改良を行う際の評価基準となります。

関連特許・関連資料等